

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)

2023-2024年度 国際ロータリーテーマ

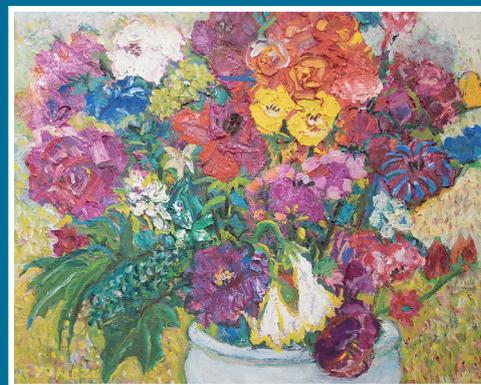
世界に希望を生み出そう

R.I.会長 ゴードンR・マッキナリー

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 折井 正明

2023-24年度 上田ロータリークラブ

- 会長 林 秀樹 ● 副会長 三井 英和・酒井 喜雄
- 幹事 飯島 幸宏 ● 会報委員長 斉藤 達也



Rotary



世界に希望を生み出そう

第2940回例会 (令和6年3月18日)



ホームページQR

[委嘱状伝達]

米山記念奨学会より委嘱状

- 上田ロータリークラブ
奨学生お世話クラブ
- 土屋勝浩さん
奨学生カウンセラー



[会長挨拶]

林 秀樹 会長

一昨日の3月16日、北陸新幹線の金沢—鶴賀間が延伸開業しました。この整備計画の決定から51年の歳月がかかったとのこと。この結果、東京—福井間は最短2時間51分で結ばれ、今までの在来線と東海道新幹線を乗り継いでいくのに比べて33分短縮されるそうです。長野—福井間も34分短縮されるなど、北陸がさらに近いものとなりました。

私も早速福井にカニを食べに行こうと思いましたが、家族に止められ断念しました。行くことのできる機会を楽しみにしたいと思います。ただ、鶴賀—大阪間はまだ、ルートの決定すらまだの状態です。また、莫大な予算がかかるかとされていますのでまだまだ、先のことと思います。

莫大な予算と言えば、先日の新聞に「訪問介護という仕事」という論説がありました。今回の介護報酬改定で訪問介護だけが介護報酬が下がってしまい、訪問介護の事業者の死活問題だ。という内容でした。介護保険がスタートしてもうすぐ四半世紀になりますが、ここでも莫大な予算が使われています。訪問介護はどこまでが介護でどこからは家事援助なのかの線引きが難しく、報酬を評価しにくい面があります。よって、専門家以外が余り口を出せることではないのですが、この新聞記事では、一方的な論評でした。良い気分はしませんでした。

[ゲストスピーチ]

- 株式会社パトリオットエンタープライズ
代表取締役 中村 悠基 様

世界では毎分17人が餓死しています。

世界人口の約9分の1にあたる8億人以上が飢餓に苦しんでいると言われていますが、日々の食事に対して皆さんはどのような感情をお持ちでしょうか？「美味しい」「まずい」「量が少ない」「好きではない」など、様々な感情があるかと思います。

しかし今日、私が皆さんにお伝えしたいことはただ一つです。

それは、皆さんにとって毎日3回、合計で1日に約90分、一年で約548時間に及ぶ食事の時間を、今よりも少しだけ楽しく、幸せなものにしていきたいということです。

申し遅れましたが本日お話をさせていただきます株式会社パトリオットエンタープライズの中村悠基です。どうぞ宜しくお願いいたします。

今日はヤギが日本を救うというテーマでお話をさせていただきます。

まず簡単に私がどんな人間なのかどんな人生を歩んできたのか自己紹介させていただきます。私は1988年8月11日、長野県上田市上野で生まれました。子供の頃は、納得のいかないことには徹底的に反抗する生徒でした。中学生になると非行に走り、高校受験は教師から「お前がいける高校はない」と言われ、諦めた経験があります。中学卒業後、足場建設の職に就いた私は、大人たちが毎日このように大変な仕事をしていることに驚きました。体力的にも非常に厳しい仕事でした。18歳で長野市権堂でホストとして働き始め、約1年間続けた後、「このまま一生終わるのは嫌だ」と思い、何かがあるはずと、上京し新聞配達の仕事を始めました。22歳の時、政治家を志し、また農業を始めることを決意し、故郷の上田市に戻り

ました。研修を重ねた後に独立し、現在の会社を立ち上げました。29歳からの4年間は上田市の市議会議員を務めさせていただき、33歳で参議院選挙に落選してからは農業一本で活動しています。現在35歳です。

ここで、弊社の簡単な紹介をさせていただきます。弊社の企業理念は「日本の食と農業を守る」ことです。この理念を体現するために、社名に「パトリオット」という英語で「愛国者」を意味する言葉を選びました。「パトリオット」という名前は、名刺交換の際に強いインパクトを与えることを目指しています。たまに「ミサイルを作っているの?」と尋ねられますが、私たちがつくるのは、国民の幸せです。みんなが笑顔で毎日を送れるような、そんな幸せを生み出すことこそが私たちの目標です。次に、栽培概要についてご説明します。弊社では、りんご、ぶどう、なし、もも、牧草を長野県上田市と東御市にて栽培しております。面積は果樹だけで東京ドーム約1個分に相当する広大な農地で丹精込めて育てています。続いて、私たちが栽培に際して大切にしている三つのこだわりをご紹介します。1つ目は、除草剤の非使用です。除草剤は一時的に労力を軽減するかもしれませんが、土壌を死滅させ、不毛の地にしてしまう恐れがあるため、私たちは除草剤を使用せず、美味しい果物の栽培に努めています。2つ目は、農薬使用量の削減です。多くの生産者が農協の防除基準に従って過剰に農薬を使用していますが、私たちは必要以上の農薬の使用を避け、通常の30%から50%以上を削減し信州の環境に優しい農産物の認証を受けています。3つ目は、チーズ製造時に副産物として出るホエイの散布です。ホエイに含まれるカルシウム、マグネシウム、乳酸菌、酵母などが果物の味を大きく向上させます。ホエイを散布するようになってから、果物の美味しさが格段に向上し、お客様からも変化についてよく質問されるほどです。また、私たちは耕作放棄地の復旧にも積極的に取り組んでおります。自分が農業を始めたきっかけの一つが、昔ながらの豊かな農の風景を守りたいという思いからです。耕作放棄地が再び活用されることは、その風景の維持だけでなく、地域の魅力を高めるためにも不可欠だと思っています。現在弊社では50頭近くのヤギを飼育しています。ヤギを飼い始めたきっかけは、果物の廃棄をどうにかできないかというところからはじまったのですが、そこから派生して現在ではヤギ乳からチーズも生産しています。これから出産シーズンで子山羊がめっちゃくちゃ可愛い時期なのでぜひ牧場に遊びにきてください!!

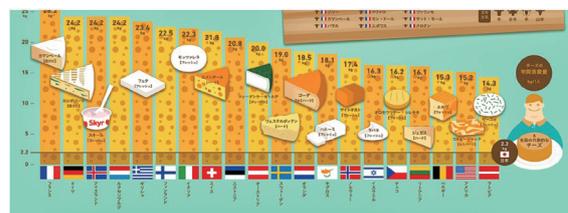
ここからはチーズ工房カプレットを開業するまでの歩みです。私は農大なんてでていないので、ヤギの飼育に関して、何の知識も経験もありませんでしたので、学ぶところから始めるしかありませんでした。平成28年、日本で数少ない山羊の人工授精士になれる施設が近隣の佐久市にあることを知り、運命的な瞬間を感じそこで基礎的な飼育技術を学びました。また、チーズ製造技術もなかったため、春日温泉近くのボスケンチーズラボさんで研修して技術を身につけました。

その結果、令和3年には柳町のはずれにチーズ工房カプレットとして自分たちの製造拠点を開設するに至りました。もともとはワイン造りを目指してぶどう栽培を始めたのですが、気がつけばチーズとヤギが私たちの活動の中心になっていました。最近では私も自己紹介の時に果樹農家より山羊農家ですと言う機会が増えていました。そして設立まもないチーズ工房ですが、私の物づくりに対するオタク気質が功を奏したのか2つの賞をいただくこともできました。2022年武田味噌さんの味噌をチーズの中に練りこんだミソリーナというチーズがジャパンチーズアワードにて銅賞を受賞、2023年ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテストでヤギのフレッシュチーズのネロカブラが金賞を受賞。ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテストで金賞を受賞したことで世界への切符を手に入れて、今月5日から7日までアメリカで開催されたワールドチャンピオンシップチーズコンテストに出品しました。なんとそのコンテストで100点満点中99.05点をとることができました。しかし空輸して3週間保存されることを考慮して水分を少な目で作ったところフレッシュチーズ部門でコンテストにだしたのですが、審査員からこのチーズはフレッシュじゃないんじゃないかと物言いについて、点数的には優勝できたかもしれないのに順位も分からない状態になりました。少しわかりづらいですが、右が食べごろで、左がコンテストに出品した時の水分が少ない状態のチーズです。

ジャパンチーズアワードで金賞を受賞した「ネロカブラ」



これは世界の一人当たり年間チーズ消費量のグラフです。



世界の一人当たり年間チーズ消費量

実は人口減少社会の日本なのにチーズ消費量は増えています(現状は2.2kg)。プロセスが多いのは日本だけです。チーズ工房の数は北海道118、長野県16で全国三位は意外に千葉の13件です。ヤギチーズって珍しくて臭いと想像される方も多いのですが、世界では結構普通にあるチーズで、牛のチーズでもブルーチーズは臭いように臭いが強いもの、全然ないものと作り分けることもできます。食べられると牛乳チーズよりも深みと甘みがあって、

めっちゃくちゃ美味しいのがヤギチーズの特徴です。また牛乳アレルギーの原因でもあるαs1カゼイン蛋白質が山羊乳にはほとんどなく、牛乳アレルギーの方でも山羊乳なら飲むことができます。人間の母乳に一番近い乳と言われるのが山羊乳で、昔は母乳がでない人は山羊乳を飲んで育っていたと聞きます。次はチーズ全般の特徴になります。チーズはカルシウムの宝庫で少量でも多くのカルシウムを効率的にとれます。しかも体内への吸収率が高く、小魚や海藻類の約2倍もあります。牛乳を飲むとおなかゴロゴロする人にはチーズがオススメです。同じ乳製品でもチーズには、牛乳にふくまれる体に消化されにくい「乳糖」がほとんどないので安心して食べられます。チーズは糖質が少ないため、糖質制限中のおやつにぴったりです。また、意外にもチーズは血糖値の上昇をゆるやかにする低GI食品の代表格です。まだまだあります。体内で合成することのできない必須アミノ酸がバランスよくふくまれてることからチーズのタンパク質は良質といわれています。中でもBCAAと呼ばれるアミノ酸は運動時の筋肉の分解を抑え、運動後に摂取すると筋肉の合成と疲労を低減する効果があるといわれています。体を鍛えている人はプロテインもいいですが、チーズもいいかもしれません。チーズには、体の抵抗力を高めるビタミンAが豊富にふくまれています。ビタミンAには、皮膚や粘膜を健康に保つはたらきがあります。またチーズには抗酸化作用のあるビタミンEもふくまれています。美容に最高の食品です。



続いてヤギの魅力をご紹介します。ヤギは一言でいうとずうずうしくてどんくさい性格です。病気や気温の寒暖差にも強く、牛より小さいので飼育しやすいです、家の中で飼う人もいます。また乳としても肉としても有用で、草刈りも毒草以外ほとんど食べます。そして何より真っ白で可愛いのがウリです。現在福祉施設や工場などで従業員や利用者の心の癒しの目的として飼われているところも多くあります。弊社のヤギも上田駅北側から登ってきたあたりですが、新田自治会で草刈りの業務を請け負って山羊が大活躍しております。桜の木の新芽を食べてしまうのはご容赦ください。そんなヤギちゃん達と果物栽培をリンクさせて今では美味しい果物を作って、その果物をヤギちゃん達に与え、その山羊乳を使って美味しいチーズを作り、と自社の中で循環型農業を実践しています。今はホエイですが、今年から堆肥の生産にもチャレンジする予定です。こんなことを10年

やってきましたが、私が実際にやってみて感じた農業の魅力は、誰よりも新鮮で美味しいものが食べられること、自然の中で太陽の下で働けること、日の出とともに起きて、日の入りとともに寝ることができることです。自然災害にあうことも多々ありますが、辛い所もふくめて魅力なんだなって思います。自然には逆らわず、自然と一体になることで今ではストレスフリーになりました。

我々農業者の役割は大きく分けて3つあると思っています。食を通して消費者の皆さんに幸せを届けること、地域の景観、環境をまもること、国民の生きてく為に必要な食料エネルギーを生産すること。エネルギーはカロリーのエネルギーだけでなく、精神的なエネルギーになるのも食糧であり、そんな産業に携われることを光栄に思っています。以上となりますが、ヤギのご相談であれば何でもご相談ください。ご清聴ありがとうございました。

『ロータリーの友』紹介

雑誌委員会 土屋 勝浩 委員長

◆横書き 8ページ

「トイレ、その先へ」

それでは左開き横書きの8ページをご覧ください。今月は「トイレ、その先へ」と題して、ロータリー活動を通してみた世界の排泄環境について特集がされています。



まず、インドのトイレ事情についてです。インドでは、モディ首相が就任した2014年から農村部の各世帯に補助金が提供され、1億基以上のトイレが建設されました。その結果、13年には40%だった農村部のトイレ普及率は、19年にほぼ100%にまで改善が図られました。しかし、その後もトイレの利用が進まず、トイレからくみ取った尿が水質汚染を引き起こしているという課題も残っているそうです。

インドの国家家族健康調査では、改善されたトイレを利用している人口は全体の46%に過ぎず、相変わらず野外で用をたしている状況が明らかとなっています。では、なぜトイレは利用されないのか。聞き取り調査によると、くみ取り費用が実際よりも高額になると誤解しているため、利用が進まないということが分かりました。この点については、正しい情報を普及させる啓発活動が必要だということです。

また、インドではインフラ不足のため、未処理のし尿が河川に投棄されることが多く、それが原因で水質汚染を引き起こされているということです。下痢や赤痢などへ対策としてトイレを設置したはずが、逆に河川の汚染を引き起こし、人々の健康を害することに繋がるとは、本末転倒のような状況です。

最近では、トイレのし尿をより低コストで処理するため、トラックの荷台にミニし尿処理装置を搭載して各世帯を回るNGOのプロジェクトがあるそうです。こうした活動にロータリーが積極的に支援することは大変意味のあることだと、報告者であるロータリー財団の元橋先生はまとめています。

◆横書き 10ページ

10ページからは、日本のロータリークラブが世界各地のトイレ環境を改善している事例が紹介されています。学校を中心とした取組みが主ですが、ハード整備はお金がかかることですので、各地区ロータリーも知恵を絞りながら計画的に行っているようです。

我々にとっても大変参考になる記事ですので、後でゆっくりとご覧ください。

[幹事報告]

飯島 幸宏 幹事

1. 米山奨学会
ハイライトよねやま 288号
2. 地区事務所
青少年育成基金規定改正のお知らせ
第34回 R Y L A開催のご案内
「2024-2025年度のための地区研修・協議会」開催のご案内
2024学年度米山奨学生・カウンセラーオリエンテーションのご案内
3. 上田ライオンズ 創立60周年記念式典のお礼
4. 東信ジャーナル
上田RC 留学生の声をまちづくりにMANABI 外語学院で出前講座



[ニコニコBOX]

滝沢 秀一 委員

- 飯島幸宏さん 石井懋人さん
伊藤典夫さん 小幡晃大さん
金子良夫さん 上島孝雄さん
柄澤章司さん 窪田秀徳さん
桑澤俊恵さん 桑原茂実さん
小林秀茂さん 小山宏幸さん 斉藤達也さん 酒巻弘さん
櫻井雅文さん 滋野真さん 春原宏紀さん 関啓治さん
関勇治さん 高橋鼓さん 滝沢秀一さん 田邊利江子さん
田原謙治さん 土屋勝浩さん 成澤厚さん 林秀樹さん
布施修一郎さん 三井英和さん 柳澤日出男さん 湯田勝己さん



本日喜投額 30名 ￥ 35,000
累計 ￥1,326,000

[例会の記録]

司会：佐藤 倫 会場・出席委員

斉唱：ロータリーソング「四季の歌『春』」

- 委嘱状伝達 土屋 勝浩さん
- 会長挨拶
- 幹事報告
- ゲストスピーチ
株式会社パトリオットエンタープライズ
代表取締役 中村悠基様
- 「ロータリーの友」紹介

[ラッキー賞]

- 瀧澤亮介さん(滋野真さんより、雪中梅)
櫻井雅文さん(柳澤雄次郎さんより、とらやの羊羹)
高橋 鼓さん(柳澤雄次郎さんより、とらやの羊羹)
滋野 真さん(矢島康夫さんより、アルゼンチンカラ
ファテのジャム・チョコレート)
島田太一さん(林秀樹さんより、両国のせんべい)



[出席報告]

佐藤 倫 会場・出席委員



	本日	前々回 (3/4)
会員数	54	54
出席ベース	51	52
出席者数	40	40
出席免除(b) ()内は出席者数	5(2)	5(3)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内は Make up 後		1(41) コロナ欠席2
出席率	82.35	82.69

[本日のメニュー]

- 牛カルビ丼



[次回例会予定]

- 4月8日(月) ゲストスピーチ
上田エンジェルス
ヘッドコーチ 荒川 玲子様

(3月25日発行)

【会報担当】 斉藤達也 会報委員長